

祇園新橋 まちづくりニュース

祇園新橋地域のまちづくりをすすめる、ひとつの集まりとして「祇園新橋まちづくり部」は活動をしています。「祇園新橋まちづくりニュース」は、これからのまちづくりを皆様とともに考え、その取組をお知らせするニュースです。

2022年(令和4年)
9月

Vol.65

発行：祇園新橋まちづくり部

Email: gionshinbashitatumi@gmail.com

HP: <http://gion-shinbashi.blog.jp/>

祇園新橋景観づくり協議会総会が開催されました

6月8日(木)午後1時より 弥栄ふれあいサロンで第5回の総会を開催いたしました。

感染症の終息が見えない中、来賓は招待せず、会員様のみの総会としました。

会員総数84名、出席者57名(内、委任状は44名)で総会は成立いたしました。

令和3年度の事業報告と決算、令和4年の事業計画と予算が報告され、異議無く承認されました。

総会終了後、長年、京町家や町並みについて研究してこられた立命館大学名誉教授 山崎正史先生から京町家と祇園についての講演をいただきました。



【山崎正史先生 講演要約】

江戸時代中頃、八坂神社門前に四条通に芝居小屋が並んで人が通るようになった。それを、そのまま返すのはもったいないとお茶屋街が出来たと考えられる。

17世紀初期の舟木本洛中洛外図には、芝居小屋が描かれている。また1840年の祇園の景観では、北座も出来ており、周囲にお茶屋街が広がっている。

お茶屋建築の特徴としては、客の部屋は2階であること。階段をあがったところに踊り場があり各部屋から見えるようになっていることなどがある。また江戸時代に2階の背が高いのはお茶屋だけであった。

お茶屋の町並みはそれぞれの建物が個性を持ちながら、全体としてのまとまり(統一性)がある。「多様の統一」に町並みの美がある。京の洗練と粋を伝える貴重な景観を、住民の自助努力と行政の理解と協力によって、後世に残してほしい。



講演には会員様の他、京都市景観政策課、祇園町南側協議会等から22名の出席がありました。

桜ライトアップ



第29回白川さくらライトアップは、多くの地元のご協力を得て3年ぶりに開催されました(3/25~4/3)。11万人(PM1時~PM10時)が京白川の桜を堪能。

NHKのBSで生中継がありました。開花とライトアップ期間が今年も上手く一致しました。

総事業費350万円、地元が55%を負担する地元主体の事業です。

7月26日 土用供養祭 斎行

7月26日(火) コロナ第7次感染拡大傾向を受けて、役員のための参拝とし、神事を縮小して斎行致しました



【新規出店ニュース】

- ① ジュヴォー様の東隣に物販店(株)ハリズリー様の事業部門、BRILLIANCE(ダイヤモンド) BIZOUX(オリジナルジュエリー)の宝飾2事業が11月開店予定。
- ② 梅庵様の東隣に飲食店(株)大地様が肉割烹を11月開店予定。

【報告】

海外クルーによる映画撮影について

海外事業者との取り組みで、過去の反省点を踏まえて、撮影に関しての同意書を作成いたしました。日本語版、英語版の両方を作成し、外国事業者からも事前に合意を得ました。

お盆の 行灯

今年もお盆の行灯を8月20日まで軒先に付けました、再開して12年目を迎えます。

今年も京都女子大学矢野ゼミの学生さんの切り絵が18作品追加されました。



今後の日程

弥栄学区 盆踊り ……10月9日(日)
白川落葉の掃除 ……11月下旬予定
辰巳大明神火焚祭 ……11月下旬予定
*行事についてはコロナ感染拡大の状況により内容の変更、又は中止になることがあります。

定例の意見交換会は、新型コロナウイルス感染予防のため休止中です。再開時には改めて書面でお知らせいたします。新型感染症の状況によって行事が中止となる場合があります。その時は事前にお知らせ致します。

お問合せ連絡先：永田(ゑり萬内) 075-525-0529